

Weekly Report

2023-24



世界に希望を生み出そう

創 立 / 1965年6月25日
 例会日 / 毎週木曜日 PM12:30~
 会 場 / 江南商工会館11F大ホール
 江南市古知野町小金112
 0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館11F
 TEL / 0587-55-6554
 FAX / 0587-59-7720
 URL // <http://www.konan-rc.com/>
 Mail // konanrc@beach.ocn.ne.jp
 会長 / 富田清孝 幹事 / 木本寛 会報委員長 / 山崎博征



2024年(令和6年)1月18日(木) 雨 第2786回(当年度第20回)例会

点 鐘
 司 会

ロータリーソング斉唱
 四つのテスト唱和

会長 富田 清孝君
 SAA 濱島聡一朗君
 「それでこそロータリー」
 岩田 静夫君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ゲスト及びビジター紹介

該当者なし

会長挨拶

会長 富田 清孝君



今日は今年初めての通常例会です。

毎回4つのテストを唱和していますが、この時皆さん何をお考えでしょうか。わたしは必ず思い出すことがあります。このことをお話します。私の思い出話になりますがどうかお付き合い下さい。

私は歯科医なので歯学部を卒業しています。卒業と

同時に先輩に誘われて付属の大学病院の中に有る冠橋義歯学という講座に入りました。

1年目は専攻生という事でいろいろ学んでいました。2年目からは有給の助手にしてもらいまして実際に仕事をしていました。仕事は3つありまして、実際の治療、学生の教育、基礎的な研究です。

この仕事の中で基礎的な研究は先輩の手伝いをする訳ですが、大抵夜にしていました。いつ帰れるか分かりません。

冠をかぶせる前に歯を削るのですが、術者によって何か傾向が出るのか調べている時がありました。私は学生が実際に削って型を取って冠を作った時の歯型の削った角度を調べ、データをとる仕事をしていました。

夜も更けると人間誰も文句も言いたくなります。それで私は先輩に、「この様なことをして何か物になるのか」と聞きました。

先輩は私にこう言いました。「富田君、基礎的な学問の研究はとても地味なもので、失敗に終わることもある。あるいはその方法が間違っていることもある。でもそれは大事な真実なんだ。次の研究者はそれを避けて研究すればいい。科学はその様な真実を積み重ねて発展してきたんだ」と教わり、それで私は大いに納得して黙々とデータをとり続けました。

それで私はそれ以来、新しい真実は、真実を積み重ねてしか得ることができないと思っています。

これからもこの様なことを思い浮かべて4つのテストを唱和していくつもりです。

今年も宜しくお願いします。

祝 福 親睦活動委員会委員長 中村 耕司君
出席報告 例会運営委員会委員 伊藤 かね子君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
48名	38名	10名	80.85%

ニコボックス 例会運営委員会委員 伊藤 かね子君

○年男語る！辰年

川崎良一君、杵本哲一君、猪子明君、田中健君
本日の卓話、よろしくお願ひいたします。

富田 清孝、波多野 智章、木本 寛、三輪 慎一郎君
○「年男語る」で発表させていただきます。

川崎 良一君

○本日年男で大いにほえます。

杵本 哲一君

○年男語る！ 発表させていただきます。

猪子 明君

○本日 年男語る！ 発表させていただきます。

田中 健君

○年男語る！！本日の卓話よろしくお願ひします。

伊藤 鶴吉、森 弘好、倉知 正憲、松岡 一成
庄田 元久、古田 嘉且、富永 典夫、杉浦 賢二
沢田 昌久、岩田 静夫、長瀬 晴義、南村 朋幸
中村 耕司、岩田 進市、近藤 道磨 各君

卓話 年男語る！ ～辰年～



川崎 良一君

昭和27年生まれの辰年です。

団塊の世代が作り出した風俗や文化を享受しながら生きてきた世代です。

団塊の世代の年間出生数は260万人を超えており、ちなみに2023年の出生数は72万人とのことです。

大学に入学した時には、学生運動もその名残をとどめてはいましたが下火になり、ほとんどの同世代はノンポリ学生で、大学卒業時期には第一次オイルショックが起きました。

私自身について言えば、24歳の時は江南ロータリーアクトクラブ設立のキーメンバーに選ばれ認証状伝達式に向けて夜な夜な会議をしていたと記憶しています。

36歳の時は、江南青年会議所で理事、室長、副理事長、監事と続く年のはじまりでした。

48歳の時は、当クラブのメンバーになっておりまして、43歳の時に、当時のロータリークラブメンバーで税理士の真野琢也先生と西村康己先生に誘われて当クラブに入会しました。なお当時は、掛け持ちで江南商工

会議所青年部にも所属していました。

60歳で年男の挨拶をしたと思いますが、それからあつという間の12年でありました。

年男にあと何度なれるか分かりませんが、今後も当ロータリークラブのメンバーの皆様におかれましては、今までと変わらずお付き合いのほどをお願いいたします。



猪子 明君

毎年新年の例会に、この「年男大いに語る」があります。今年は、辰年生まれの四人のメンバーが30分の時間を公平に時間配分しお話しさせていただくのですが、トークテーマは、人の悪口さえなければ何を話してもよいと先輩に教えていただきました。

しかしながら、フリーテーマとなると何も浮かんでこなくなるのが常でありまして、悩んでおりますと12年前にスピーチしたことを思い出しまして、当時の会報誌を探しました。

当時は、84歳にて稲波八良さん、72歳にて景山芳樹さん、還暦60歳にて川崎良一さん、そして48歳にて杵本哲一君と私・猪子が該当者でありました。

景山さんはお休みのようでしたが、稲波さんは、「昭和3年3月1日誕生登録であるが、本当はうう年の2月29日生まれで4年に一度の誕生日しかなくなるので3月1日したと聞いておるとのこと。龍は天に昇るといわれるが、自分はまだ天に昇るのはまだ早いと思うので地面をはっつこうと思います。」と話されました。

川崎さんと同じ年の杵本君のスピーチの内容は、本日お二人のスピーチされるのに邪魔になるかもしれないのでお披露目を割愛させていただきます。

私のスピーチとしましては、昭和39年の日本の歴史として10月1日東海道新幹線開通、10月10日東京オリンピック開催を伝え、同世代の記憶として中学三年生の時に「三年B組金八先生」が放送されクラスの生徒役は、田原俊彦以外の杉田かおる、鶴見辰吾、三原じゅん子、近藤真彦すべてが同世代ということでした。

また、十二年前のスピーチ当日の話として、長女・聖奈が四日前に成人の仲間入りをさせていただいた話をしていました。江南市の成人式は成人メンバーが実行委員会を作り、そのメンバーたちで企画し開催しています。長女の世代の、実行委員会委員長は南村君のご子息でした。ゲストにフィギュアスケートの中野友加里さんをお迎えし盛大な式典を行っていただきました。

長女・聖奈は二年後、江南幼稚園の教諭として社会人となり、江南幼稚園では七年間勤めさせていただきました。5年前に結婚しましたが、その披露宴には伊藤鶴吉さんと靖祐さんにもご臨席賜りました。

また次女の杏奈について、私の12年前のスピーチ当日では、大学受験生として明後日センター試験を受けると話しておりました。結果、無事第一希望である愛知県立芸術大学音楽学部ピアノコースに合格しました。6年後大学院を首席で卒業させていただき、第10回ニース国際ピアノコンクール第2位受賞、1位の伊藤順一さんと凱旋記念演奏会を東京・名古屋開催し、5年前には名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏会にショパンのピアノコンチェルトを演奏させていただきました。

その後、江南ロータリークラブ創立50周年記念式典に名フィル10名と合同でコンチェルトを演奏する機会を時の岩田静夫会長からいただきましたが、新型コロナウイルス蔓延の事情で式典自体が幻となってしまいました。

その後、昨年度ホテルインディゴ犬山有楽苑にて行われた家族例会にてピアニストとして皆様の前にて演奏させていただきました。駒田君のご子息から「ブラボー!」のお声をいただいたのは記憶に新しいです。娘二人とも大なり小なり江南ロータリーと関わり合っていることは、幸せなことと感じております。

前回の「年男大いに語る」から12年たちますと我が家も大きく変わりました。二人の娘は、社会人となり結婚をし、それぞれ長男を出産しました。私にとってはかわいい孫の誕生です。二人とも外孫ではありますが、長女は家が近くになったこともあり、次女はピアノ教室を我が家で続けていることもあり、週一・二ペースで孫を連れて我が家に来てくれています。母・妻との静かな三人暮らしが一変します。楽しい生活を実感しております。

私も還暦60歳の年を迎えました。この年齢は私にとって実に意味深いものがあります。実は父が58歳7か月で他界しました。私は、その月日を昨年の4月に迎えました。58歳時の親父とその年月を超えた今の自分と比較しますと、自分といたしましてもまだ道半ばであると自覚してしまいます。

川崎さんの12年前のスピーチの締めは「次回の「年男語る」にも元気に挨拶できれば良いと考えています」でした。そして、その言葉は現実となりました。私もその言葉をお借りして挨拶を終えたいと思います。次回の「年男語る」には、12年間の月日にて、さらに成長したことをお披露目する場となるよう1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。



田中 健君

皆さん こんにちは。
ただいまご紹介に与りました、昭和51年12月5日生まれ 47才の田中健です。

芸能人では、静夫さんが大好きな観月ありさと同じ生年月日です。(笑)

私は、昨年の1月に、ここにいる内田さんと同期入会させていただきましたが、諸先輩方に温かく迎えていただいたお蔭をもちまして今日を迎えることができました。本当にありがとうございます。

昨年末に、この年男を語るというテーマをいただきましたが、お恥ずかしながら、これまでの人生で年男を意識したことがなく、何も考えずに生きておりましたが、せっかくの考えるきっかけをいただいたので、今年は、年男を意識して生きてみようと思っております。

あまりこういうのを信じるタイプの間人ではありませんが、新年早々、ご祈祷の際に、おみくじを引きまして、運勢は「大吉」でした。興味深い内容でしたので、読み上げさせていただきます。

運勢:大吉

「開運の兆しあり。好調の波に乗るときで、目上の人の引き立てがある。全ての状況が好転し、実力も認められ、地位も昇進するでしょう。」

ここで、目上の人の引き立てがあると見たときに、すぐに江南ロータリークラブのことを想像しました。私の中でこれほどの目上の方々が集まるコミュニティは、この江南ロータリークラブしかありませんので、本年は、皆さんからのご指導ご鞭撻を真摯に受け止め、しっかりと付いていきたいと思っております。

しかし、一方では、このようなことも書かれていました。

「このような時はできるだけ外面を抑えて地味に。」ということなので、静夫さん、今年は地味にいきますので、よろしく願います。(笑)

さて、先ほども申し上げましたが、私もロータリー活動が1年を過ぎましたが、少しずつロータリーのことを理解できるようになってきました。

そして、私にもロータリーの血が流れているんだな~と思ったのが、本年正月を東京で過ごしていたんですが、浅草の商店街を歩いていた際に、「ボレロ」という曲が流れてきて、「ボレロ」とは、例会の12時15分から12時30分までの15分間で流れている曲です。

ぴったりと15分で終了する曲で、この曲を聴いて、例会が始まるな~と江南ロータリーを想像している自分を見て、私もロータリーの一員なんだと感じる瞬間でした。

また、12時15分ぴったり曲を開始しないと運営時間にも影響が出てしまうので、1秒単位で遅れないように先輩方より教えていただきましたので、その伝統を引き継いで現在も頑張っております。

もう1点、嬉しいことがあったのが、昨年とある方のプレゼンに参加して、その方の生い立ちを聞いていたところ、その方が学生の時に、ロータリーの交換留学生として海外に行った経験があり、その経験が本当に人生の転機になったということでした。その後、外務省で働かれて、今は辞めて別のことをされておりますが、ロータリーが誰かのためになっているということを知って、とても嬉しい瞬間でした。

当社の社員からロータリーって何やってるんですか?と聞かれますが、少しずつ伝えられるようになってきました。しかし、まだまだ勉強不足で知らないことも

多々ありますので、今後も、このロータリー活動に深く関わっていきたくて思っております。

そして、次の年男(60才)の際に、この壇上に立てることを目標にするということを最後に私の挨拶に代えさせていただきます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



杵本 哲一君

今日は1回/12年の「何でも吠えて良い日」で、年始早々縁起の良い、楽しい事をお話したいのですが、皆様も御存じの通り今年のスタートは最悪でした。

- 1)01.01 能登半島大地震
- 2)01.02 羽田空港 航空機衝突事故
- 3)01.03 北九州市小倉北区魚町「烏町食堂街」35店舗全焼
- 4)01.08 田中角栄 目白邸火災

こんな年初も初めてです。

昨年を振り返ると、1月24日夕刻一瞬で中部地方が凍り付き、夏は異常な高温の連続、何より9月以降台風が一つも来なかった…初めての異常な年でしたので身近な方には昨年の10月の時点で「今年は今までに無い異常な年だったから今後気を付けないと」と申しおりましたら、案の定、この天変地異、災害・事故の連続で、危惧が具現化してしまいました。

そこで、問題は「今年はどの様な年になるか？」に尽きると強い衝動に駆られ調べてみました。

実は35年前、江南市在住の故御二方、一人は高野山大学の先生後(四国四八寺住職)の御尊父、一人は元三菱重工の某工場長から「君は数理系の技術者だから理解出来るだろうから言うと、これは占いでは無い。中国四千年の統計学なのだ。」と、ご教授頂いたのがこの「暦」でした。(統計学とは事象の偏差を表しているに過ぎなく、起きる理由・原因は何一つ説明していない。)

この時、天から自分の中に何か強く落ちた…感がしましたので、日本の歴史を勉強し直し伝来に至る経緯と、歴史、根拠を探るに至りました。また、理由を付けては多々遊びに行き多く御鞭撻頂いたものです。

結論。朝廷、武将に重宝され的中率が高い為、幕府の命で一般には「お止め流」とされていた。これまで特権階級だけのものだった。

中身ですが、他と比較したところ最も重要な箇所が全く異なっています。理由は、太陽暦も太陰暦もその運行を理解し補正しないと中身がずれて行くからです。単なるリピート(繰返し)ではないのです。この補正する技術を持っていた代表が朝廷、陰陽師という部署です。

安倍晴明はその一人にすぎません。

つまり、正しい中身は朝廷、及び日本に伝えた根本しか持ち合わせないという事になります。

この暦も著作権所有、発行所は記載有りますが、連絡先、値段等一切書いてありません。関係者のみ渡るようになっています。

問題は当たる確率ですので大きな事件事故の度、検証してみました。全体の1/3が2/3の結果を導き出している、でした。

株世界、「億り人」の値上がり株を当てる確率が60%台ですから、それと同等かそれ以上と検証するに至りました。

本題の「令和六年度の心構えと投資方針」

「雷火豊の上六(らいかほうのじょうろく)」本来豊かさを示し、古来、雷の多い年は実り豊かですが、この丈六は警戒すべき運気を示している…そうです。云々…

今年の方針は…拡張拡大の方針は避けるべき、外見にとられ事を進めると思わぬ損失を被ること多々、慎重の上にも慎重に行動を。諸事値動き激しく、一見すると派手な市場だが、これは内実を伴った健全な動きでは無く、うかつに手を出すのは怪我の元と肝に銘じるべき。确实性に重点を置くのが賢明。

詳細は 各々の星回り、二七朱宿等、その他の注意すべき要素により異なります。

注意)暦のいう一年は 今年の節分から来年の節分前日迄です。元旦始まりではありません。

本日の食事



I. D. M

1月18日、酒癒処あかりにて本年度第2回のI. D. Mが開催されました。



会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら

※初めての方は
アカウントを作成してください。
※アカウントがある方は
ログインしてご覧ください。



**ROTARY 2760
アプリダウンロードはこちら**

お詫び

1月18日の卓話につきまして、録画機器の不具合により一部しか記録できておりませんでした。
申し訳ございません。

写真等ございましたら会報までお知らせください。
(担当 尾関 育良)